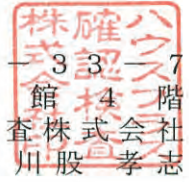


## 接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。  
 平成27年3月11日

東京都港区芝5-33-7  
 徳栄ビル本館4階  
 ハウスプラス確認検査株式会社  
 代表取締役社長 川股孝志



1. 接合金物名称	「バネ付丸座金」																																				
2. 試験依頼者	株式会社 ダイドーハント 〒542-0086 大阪府大阪市中央区西心斎橋1丁目5番5号																																				
3. 目的	当該座金を用いた座金のめり込み試験を実施し、荷重-めり込み変位関係を明らかにする。																																				
4. 試験内容	座金のめり込み試験 なお、準拠する試験方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。																																				
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「バネ付丸座金」</p> <p>材 質: 板部 SPHC(JIS G 3131)*1          SW部 SWRH57~77(A,B)(JIS G 3506)*2</p> <p>寸 法: 板部 φ45mm 板厚4.5mm 孔径φ14.2mm          SW部 外径φ24.5mm(内径φ14.6mm)*3</p> <p>表面処理: Ep-Fe/Zn8/CM2 (JIS H 8610)</p> <p>2) 軸組材料</p> <p>木材: 105mm×105mm×1500mm スギ 無等級材*4          含水率:3.5~5.0% 全乾密度:0.37~0.40g/cm<sup>3</sup></p> <p>*1 JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯 に規定する1種SPHC 又は相当材、試験では SPHC(JIS G 3131)を用いた。          *2 JIS B 1251 ばね座金に引用規定された JIS G 3506 硬鋼線材の SWRH57~77(A,B) 又は相当材、試験ではSWRH72B(JIS G 3506)を用いた。          *3 SW部外径及び内径は参考値とする。          *4 試験では、芯持ち材を用いた。座金がめり込む周辺部は節等の欠点を含まないものとした。</p>																																				
6. 試験条件等	<p>試験体は、鋼製ブロックの上に設置し、加力点から木材両木口側150mmの位置で鉄骨架台に鋼帯(接触面寸法:100mm×100mm)を用いて強固に緊結した。</p> <p>全ねじハイテンションボルトM12を木材の幅中心の孔(φ15mm)へ通し、全ねじハイテンションボルトM12、初期張力導入用治具及び六角ナットM12を用いて、試験対象座金を木材に固定した(トルク管理値27N・m)。</p> <p>加力は、全ねじハイテンションボルトM12の端部を加力治具に接続し、座金と木材の接合部分に応力を作用させた。</p> <p>試験は、単調加力とし、載荷速度を0.04mm/秒とした。試験体数は6体とした。</p>																																				
7. 試験結果	<p>特定変位時荷重 (試験体数6体の平均値)</p> <table border="1"> <tr> <td>特定変位 [mm]</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>荷重(6体の平均値) [kN]</td> <td>9.46</td> <td>11.05</td> <td>12.52</td> <td>13.73</td> <td>14.77</td> </tr> <tr> <td>標準偏差</td> <td>0.999</td> <td>1.150</td> <td>1.344</td> <td>1.404</td> <td>1.398</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>特定変位 [mm]</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>荷重(6体の平均値) [kN]</td> <td>16.03</td> <td>17.13</td> <td>18.17</td> <td>19.10</td> <td>19.98</td> </tr> <tr> <td>標準偏差</td> <td>1.502</td> <td>1.812</td> <td>2.051</td> <td>2.124</td> <td>2.275</td> </tr> </table> <p>特定荷重(6.4kN)時変位 (試験体数6体の平均値)        0.10 mm</p>	特定変位 [mm]	1	2	3	4	5	荷重(6体の平均値) [kN]	9.46	11.05	12.52	13.73	14.77	標準偏差	0.999	1.150	1.344	1.404	1.398	特定変位 [mm]	6	7	8	9	10	荷重(6体の平均値) [kN]	16.03	17.13	18.17	19.10	19.98	標準偏差	1.502	1.812	2.051	2.124	2.275
特定変位 [mm]	1	2	3	4	5																																
荷重(6体の平均値) [kN]	9.46	11.05	12.52	13.73	14.77																																
標準偏差	0.999	1.150	1.344	1.404	1.398																																
特定変位 [mm]	6	7	8	9	10																																
荷重(6体の平均値) [kN]	16.03	17.13	18.17	19.10	19.98																																
標準偏差	1.502	1.812	2.051	2.124	2.275																																
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター:神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24																																				
9. 試験実施日	平成27年1月26日、27日																																				
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博 加川 啓介 土屋 江利佳																																				